

春季大会の予稿集の申込について

日本気象学会 事務局

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内

TEL 03-3212-8341 E 2546

FAX 03-3216-4401

1993年春季大会（東京）の予稿集（63号）の予約希望者は下記を記入のうえ葉書または FAX で学会事務局宛にお申し込みください。すでに定期購読されている会員は不要です。

記

- 1) 氏名（会員番号がわかる場合は会員番号も）
- 2) 送付先または所属（会員番号を記入した場合は省略してもよい）
- 3) 63号（春季大会予稿集）のみの場合；63号のみ
63号以降定期購読の場合 ；63号以降定期

と記入してください。

注. *印刷部数が限られているので、購読希望の方は予約購読をお勧めします。大会当日は売り切れとなることがあります。

*従来の葉書折り込みは今回から止めました。

領布価格（円）	個人会員	団体会員
63号のみ	2,300	2,500
定期購読	2,000	2,200

予稿集の申込締切りは1993年4月27日（火）です。

第5回「メソ気象研究会」プログラム

日 時：1993年5月20日（木）9：30～15：00

場 所：気象庁第1会議室（5F）

テーマ：メソ天気系概念モデルを目指して
—解析と数値実験の照合—

メソ気象研究会は、今や気象学会大会に併せて開催される恒例となりました。今度のテーマは、「メソ天気系概念モデル」です。この「メソ天気系概念モデル」とは耳慣れない言葉ではありますが、メソスケールの現象に対する知見を総合して日々の現象に適用できるようにと、予報部予報課をはじめ全国の予報担当官署がその開発に取り組んでいるものです。春季大会の主催が予報部ということもあって、これをテーマに採用しました。講演の内容には以前発表されたものも含まれますが、解析と数値実験の比較を中心に、理論的な裏付けにも言及しながら今後の「メソ天気系概念モデル」開発のあり方が見えてくるような討論ができればと期待しています。

コンビーナー：檜尾守昭（気象庁）・中村誠臣（気象庁）

<プログラム>

—座長：未定—

◎冬期日本海の帯状雲（9:30～10:40）

八木正允（気象庁観測部高層課）：解析と理論

永田 雅（気象研究所予報研究部）：モデリング

◎関東南海上の不連続線（10:50～12:00）

入田 央（気象庁予報部予報課）：解析

高野 功（気象研究所予報研究部）：数値実験

—昼食—

—座長：未定—

◎やまじ風（13:10～13:50）

斉藤和雄（気象研究所予報研究部）：数値実験

◎四国付近における寒冷前線のふるまい（13:50～14:30）

鷲田 治（高松地方気象台）：解析

総合討論（14:30～15:00）